

国際原子力機関（IAEA）東電福島第一原発事故 10 周年に 当たっての原子力安全専門家会議の結果概要

令和 3 年 11 月 17 日
原子力規制庁

- 11 月 8 日（月）から 12 日（金）の間、オーストリア・ウィーンにおいて国際原子力機関（IAEA）東電福島第一原発事故 10 周年に当たっての原子力安全専門家会議が開催された。この会議は、福島第一原子力発電所の事故から得た教訓を将来の原子力安全のさらなる強化につなげることを目的とし、広い分野から多様な専門家を集めて議論が行われた。
- 当該会議には、伴信彦委員、渡邊桂一政策立案参事官及び一井直人国際室長が出席し、伴委員が放射線防護に関するセッション（Session D: Protecting people against radiation exposure）の議長を務めたほか、ALPS 処理水に関する事務局長特別セッションにおいて我が国における規制活動や取組の現況についてプレゼン及び質疑応答を行った。また、伴委員が当該会議総括のためのパネルに参加し、今後の課題等についての議論を行った。